

計画の概要

野洲市における地域医療の確保と駅前地域のにぎわいづくりの一躍を担う施設として、公共交通機関が集まる市民が利用しやすい便利な駅前に「野洲市民病院」を整備いたします。

立地

市の中心街である JR 野洲駅の南口駅前ロータリーに面した敷地に病院を計画します。周辺には共同住宅や銀行、文化施設をはじめ飲食店などの店舗が建ち並びます。立体駐車場は、病院敷地の道向かいに整備し、病院利用者の安全性及び利便性を考慮し、連絡通路にて病院と接続します。

各施設の概要

○病院

駅前の狭隘な敷地であるものの、来院者・サービス・救急車両の動線を明確に分離し、安全性に配慮すると共に、バランスよく緑地を設けることで、威圧感や圧迫感を軽減した計画としています。

内部計画は、1 階には駅前周辺のにぎわいづくりの一翼を担う開放的な「ヘルスケアパーク」や患者サポートセンター、救急部門、2 階には立体駐車場からのアクセスと利便性を考慮し、総合受付及び外来部門、3 階には手術部門や事務部門、4 階から 6 階には病棟を計画しております。

なお、電気や空調などの設備機器は 7 階・屋上部分にまとめて配置することにより、建築面積を抑制すると共に、利便性の高い建物低層部を最大限、病院利用者に開放する計画としています。

○立体駐車場

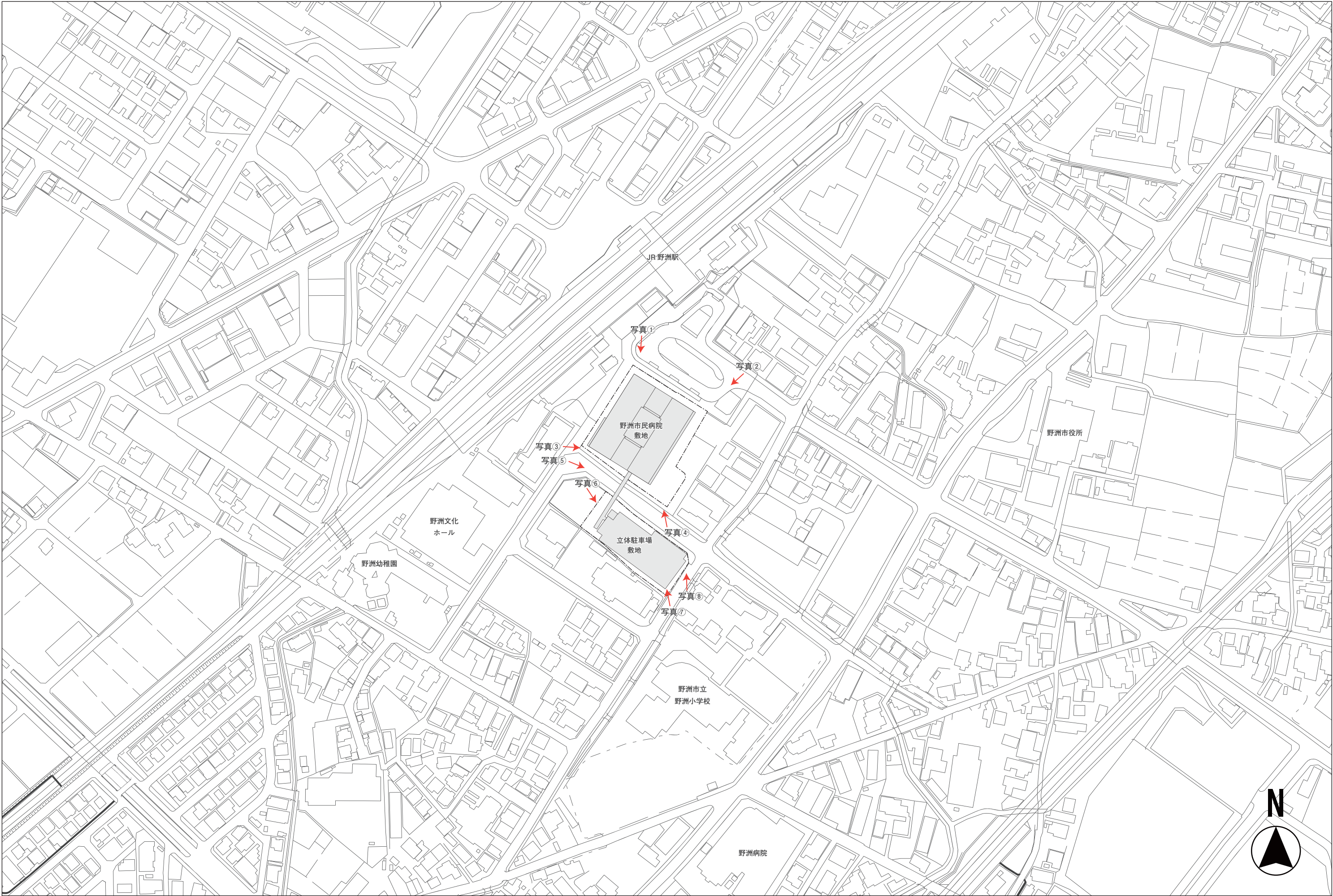
病院の付帯施設として計画します。病院利用者及び周辺施設利用者を見込み、近隣道路に対する渋滞など影響がないよう十分な駐車台数を確保する計画です。

(計画台数：約 250 台)

細長い狭隘な敷地を最大限有効活用し、安全で利用しやすい車両動線を確保すると共に、敷地内の緑地による圧迫感などを軽減し、周辺景観に配慮した計画とします。

○連絡通路

病院と立体駐車場を安全に行き来できるよう道路上空に連絡通路を計画します。シンプルな装飾を配した意匠、構造により、周辺景観に配慮いたします。また屋根は、冬季の積雪による道路への落雪などを考慮し、屋根勾配を抑え、雪止めを設けた計画としています。



										 株式会社 佐藤総合計画	設計番号 04180-010		工事名称 野洲市民病院整備工事（建築主体）		種別	
											図面名 付近見取図		縮尺 1/2500(A3)			
一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号				設計者 一級建築士 第189809号 園廣 祐男		担当 川上 浩史		通し番号								
建築コンサルタント 登録番号 第26第843号				構造設計一級建築士 第 5021号		一級建築士 第2304号		作成日								
				一級建築士 第161787号 桑原 賢明		一級建築士 第269330号 是永 恒久		2019.6								





写真①



写真②



写真③



写真④

				 株式会社 佐藤総合計画	設計番号 04180-010 工事名称 野洲市民病院整備工事（建築主体）		種別
				図面名 現況写真①～④		縮尺	
一般建築士事務所 登録番号 東京都第1023号 建設コンサルタント 登録番号 建26第843号		郵括 一般建築士 第188809号 園廣 植男		担当	川上 浩史		通し番号
構造設計一般建築士 第 5021号 一般建築士 第161787号 桑原 賢司		牧瀬設計一般建築士 第 2304号 一般建築士 第268330号 是永 恒久		作成日	2019. 6		



写真⑥



写真⑥

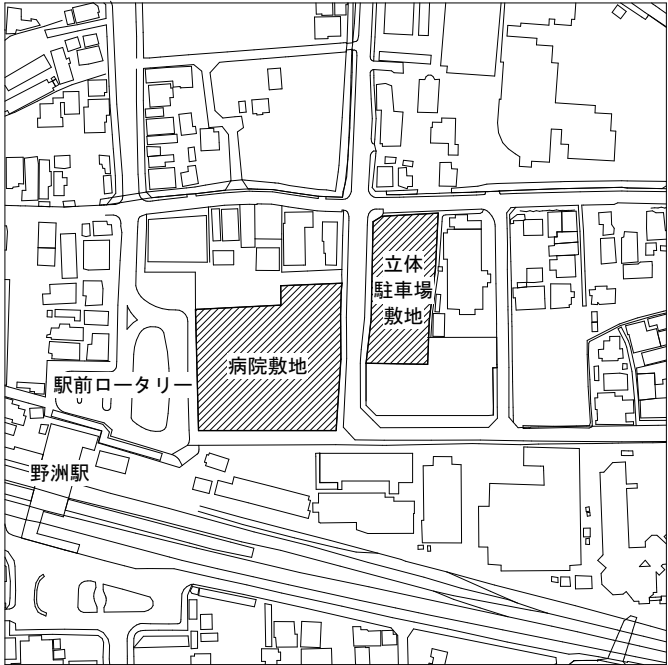


写真⑦



写真⑧

						設計番号 04180-010 工事名称 野洲市民病院整備工事（建築主体）	種別
				図面名 現況写真⑤～⑧		縮尺	
				一般建築士事務所 登録番号 東京都第1023号 建設コンサルタント 登録番号 建26第843号	総括 一般建築士 第18809号 園廣 植男	担当 川上 浩史	通し番号
				構造設計一般建築士 第 5021号 一般建築士 第161787号 桑原 賢明	設備設計一般建築士 第 2304号 一般建築士 第268330号 是永 恒久	作成日	
						2019. 6	



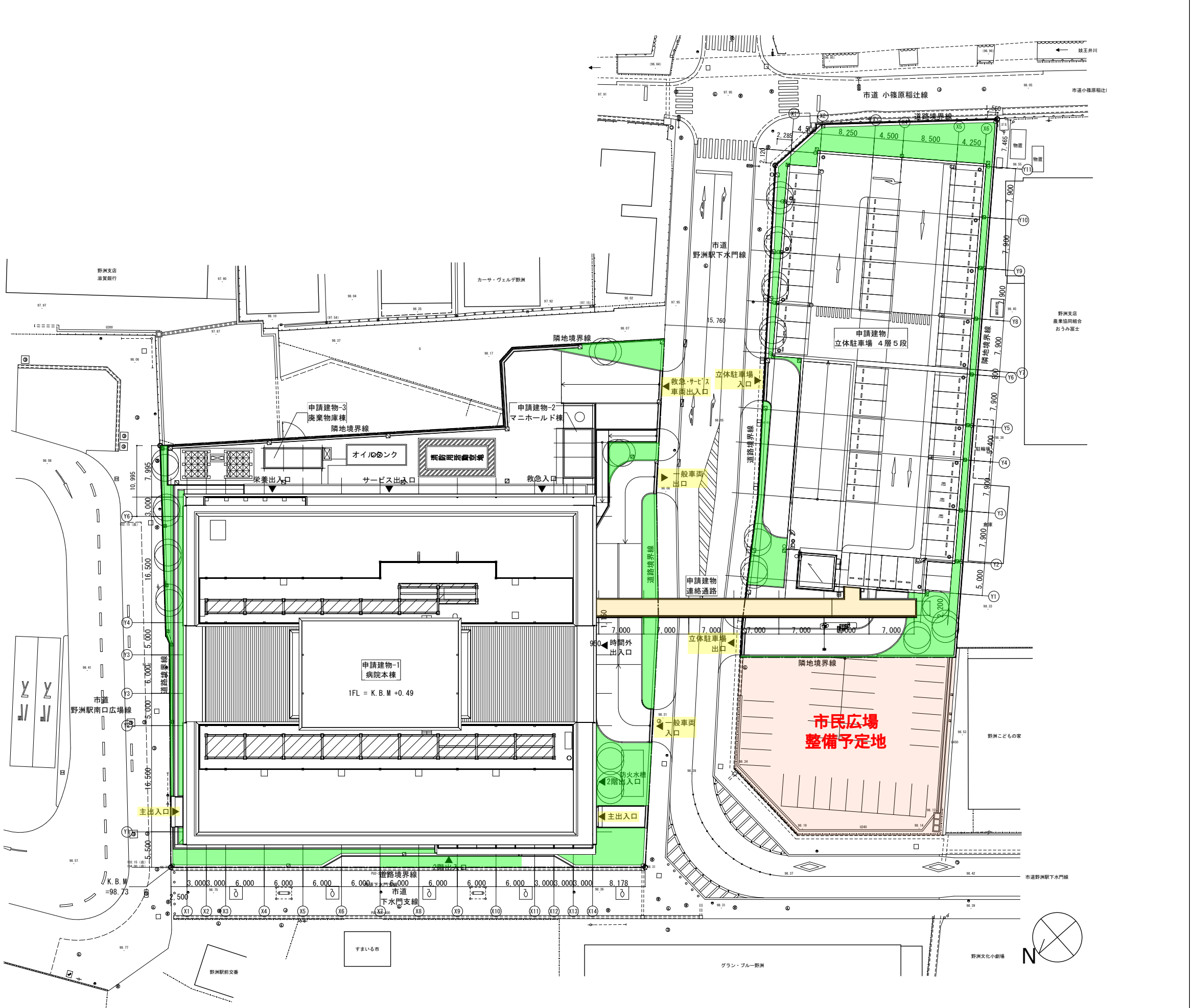
案内図

■敷地概要

計画地	野洲市小篠原字向平田2203番地1番 外		
用途地域	商業地域		
日影規制	なし		
敷地面積	病院敷地：5,433.76㎡ 立体駐車場敷地：2749.86㎡(仮)		
建ぺい率	80%		
容積率	400%		
接道条件	病院敷地東側	野洲駅南口広場線	15.4m
	病院敷地北側	下水門支線	8.0m
	病院敷地西側	野洲駅下水門線	15.7m
	立体駐車場敷地南側	小篠原稲辻線	7.1m

■建物概要

病院敷地	
建築面積	3588.77㎡
延床面積	17478.40㎡
申請建物-1	病院本棟 地上7階建 S造 一部 SRC造（免震構造）
申請建物-2	マニホール棟 地上1階建 RC造
申請建物-3	廃棄物庫棟 地上1階建 RC造
立体駐車場敷地	
建築面積	1778.91㎡
延床面積	6977.94㎡
申請建物	立体駐車場 4層5段 S造
連絡通路敷地	
建築面積	148.56㎡
延床面積	148.56㎡
申請建物	連絡通路 2階建 S造



				 株式会社 佐藤総合計画	設計番号 04180-010				工事名称 野洲市民病院整備工事（建築主体）				種別
					図面名 配置図・案内図		縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)		描出 川上 浩史		通し番号		
一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号		建設コンサルタント 登録番号 建26第843号			監修 一級建築士 第189809号 國廣 祐男		描出 川上 浩史		作図 日 6		010		
構造設計一級建築士 第5021号		一般建築士 第161787号 桑原 賢司			設備設計一級建築士 第2304号		一級建築士 第269330号 最永 恒久						

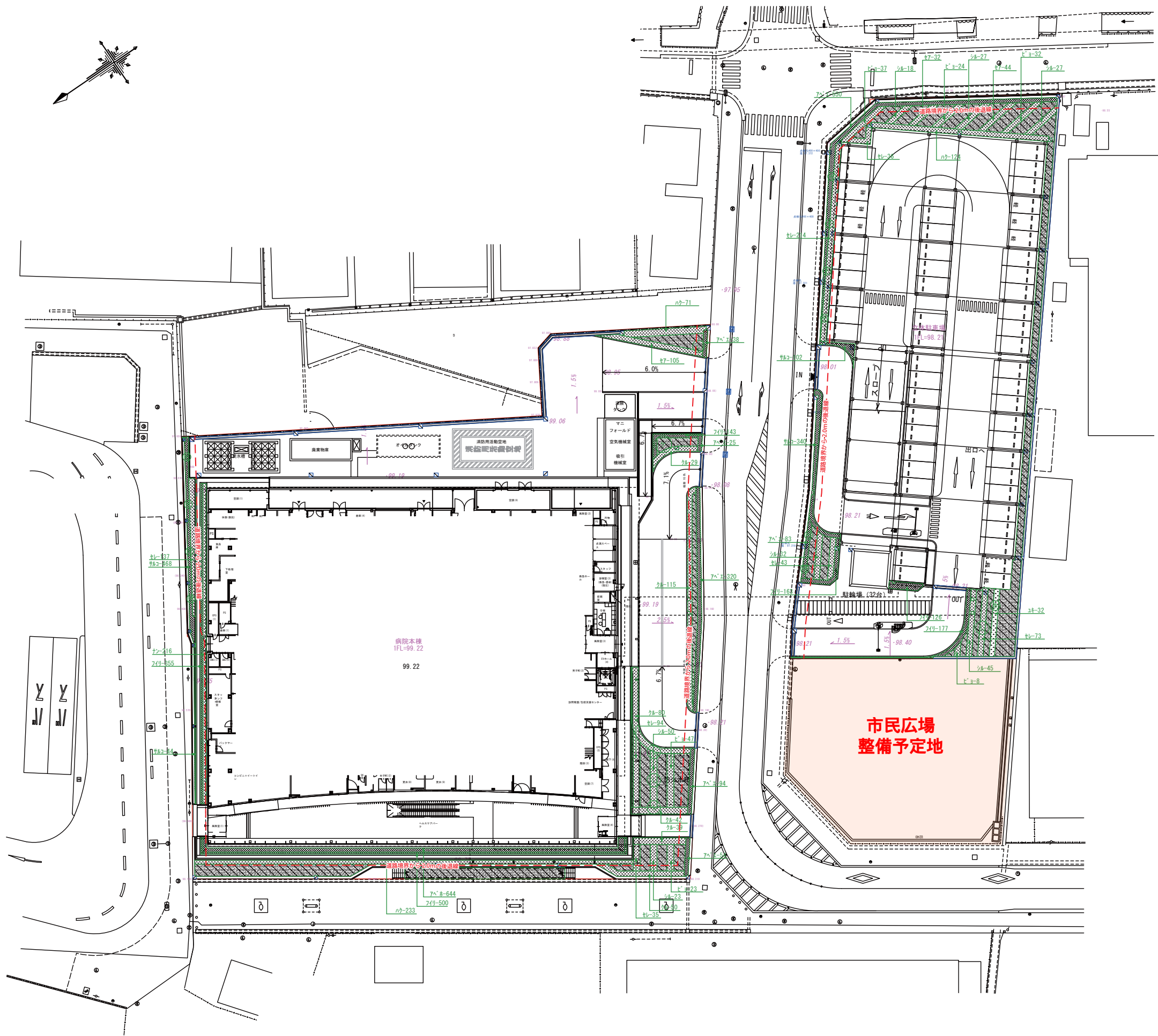


表 示	名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	備 考
高木植栽 (17.0 本)					
き	キンモクセイ	2.5 - 0.6	1.0	本	添え柱
し	シマトネリコ	4.0 0.2 1.8	5.0	本	三脚鳥居
そ	ソヨゴ	2.0 - 0.6	10.0	本	添え柱
け	ケヤキ	4.0 0.2 株立	1.0	本	ハッ掛
低木植栽 (2195.0 株 127.3 m ²)					
ク	クメツツジ	0.5 - 0.4	313.0	株	5株/m ²
シ	シルバープリベット	0.4 - 0.3	222.0	株	6株/m ²
セ	セ(3)ワナナシ 777777	0.4 - 0.3	181.0	株	9株/m ²
レ	セ(3)ワナナシ レンゴ	0.4 - 0.3	632.0	株	9株/m ²
ナ	ナンテン	0.3 - 0.2	216.0	株	9株/m ²
ハ	ハクチョウゲ	0.5 - 0.3	428.0	株	6株/m ²
ビ	ビヨウヤナギ	0.4 - 0.3	171.0	株	6株/m ²
ユ	ユキヤナギ	0.5 - 3本立	32.0	株	4株/m ²
地被植栽 (4226.0 株 96.7 m ²)					
ア	アベリア・エドワードゴージャ	0.2 12.0BP	1164.0	株	16株/m ²
ア	アベリア・ホープレイズ	0.2 15.0BP	644.0	株	16株/m ²
サ	サルココッカ	0.2 10.5vp	954.0	株	25株/m ²
フ	フィリヤブラン	3芽立 10.5vp	1464.0	株	25株/m ²
播	播草	コタシム	400.6	m ²	

AXS

株式会社 佐藤総合計画

取計番号 04180-010

工事名称 野洲市民病院整備工事 (建築工事)

図面名 外構図

縮尺 1/300 (A1)
1/600 (A3)

一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号
建設コンサルタント 登録番号 建26第843号

一級建築士 第189809号 國廣 祐男

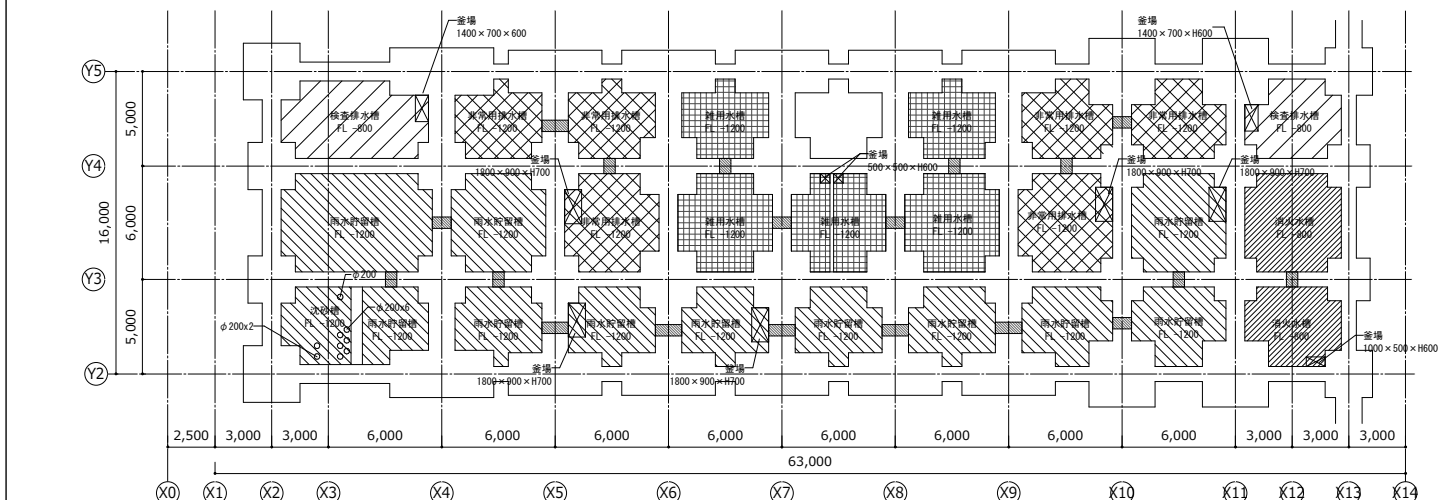
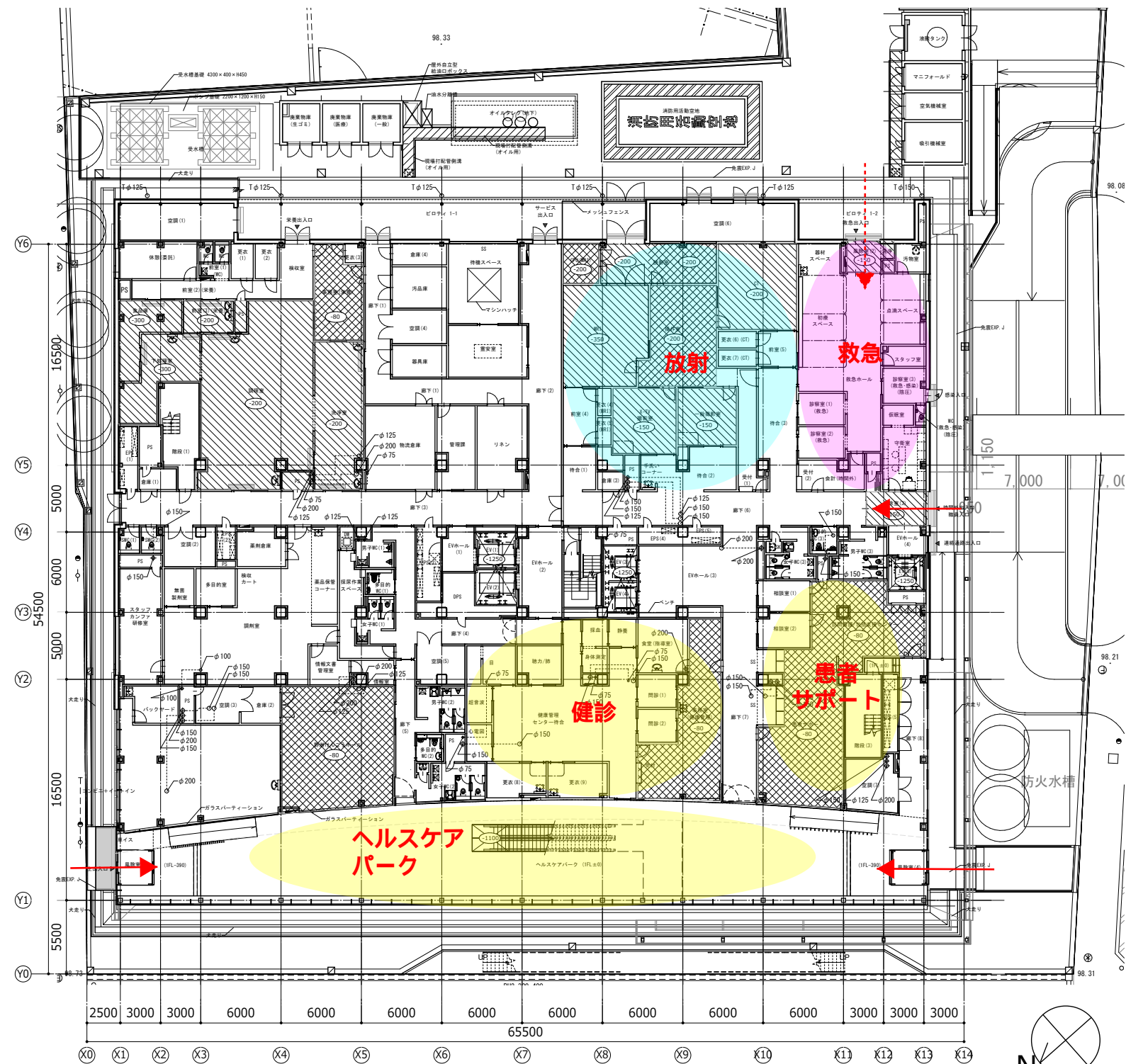
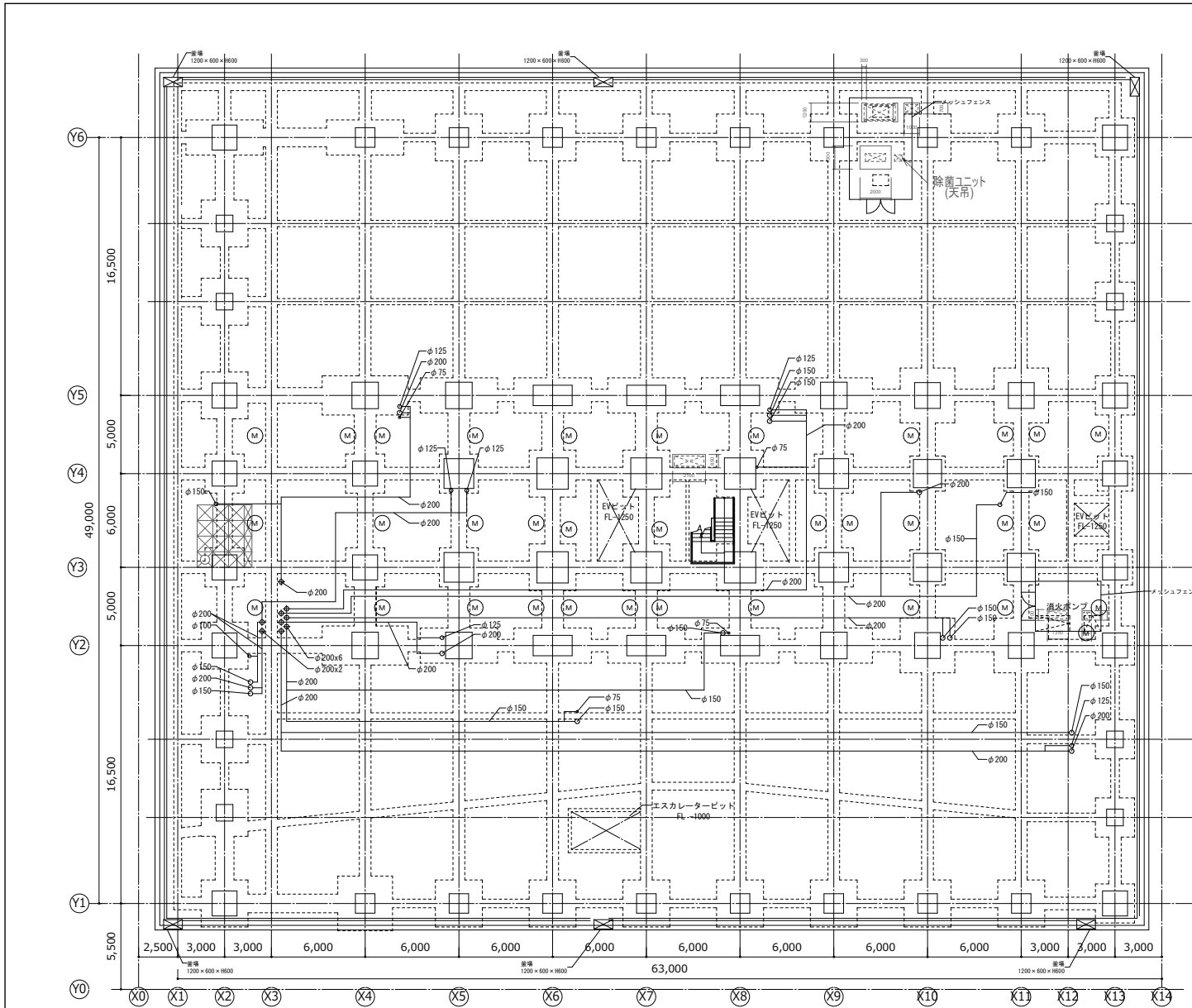
一級建築士 第5021号
一級建築士 第161787号 桑原 賢司

設備設計一級建築士 第2304号
一級建築士 第269330号 是永 恒久

備考 川上 浩史
作成日 H30.9

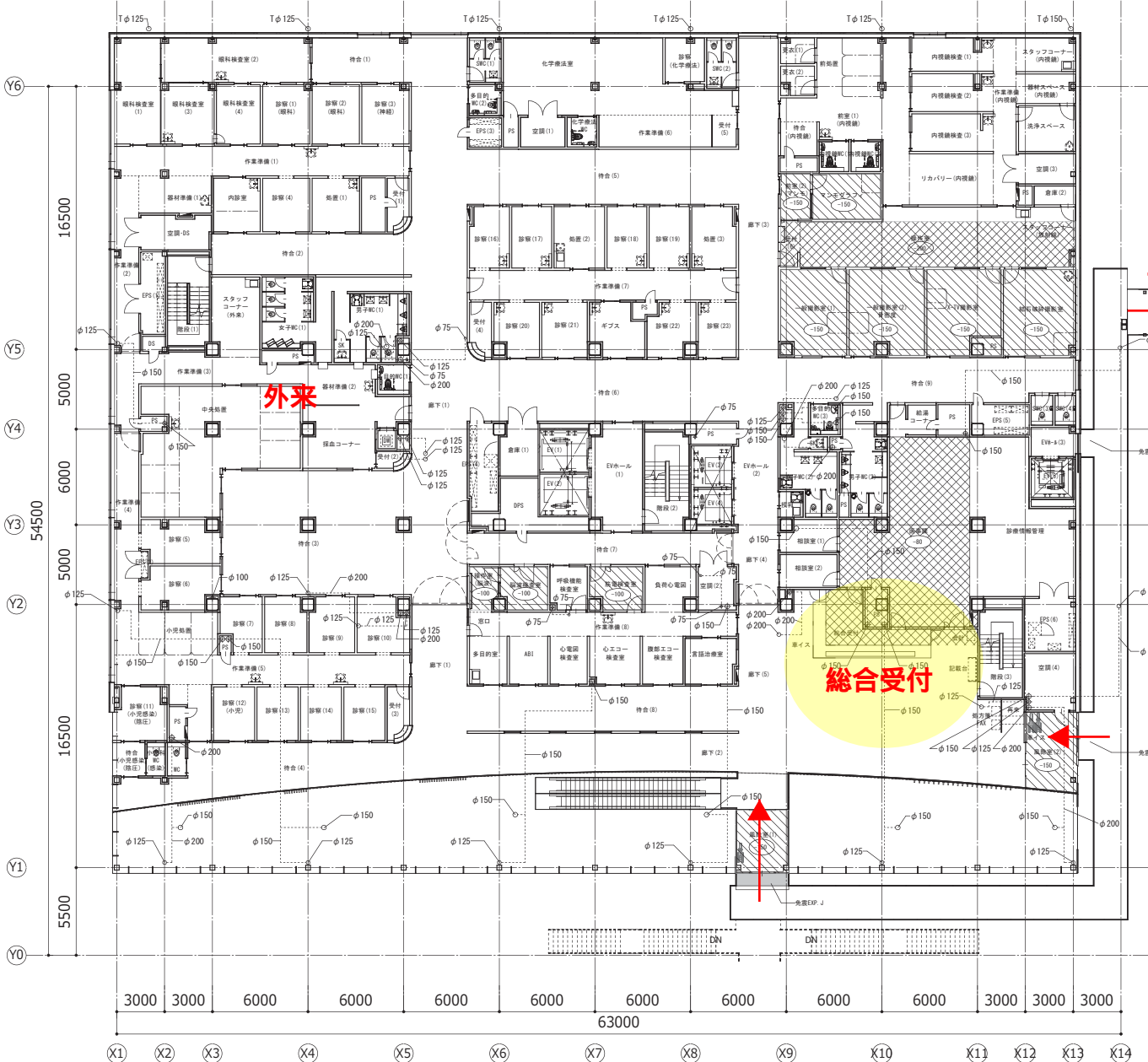
通し番号 N35

6

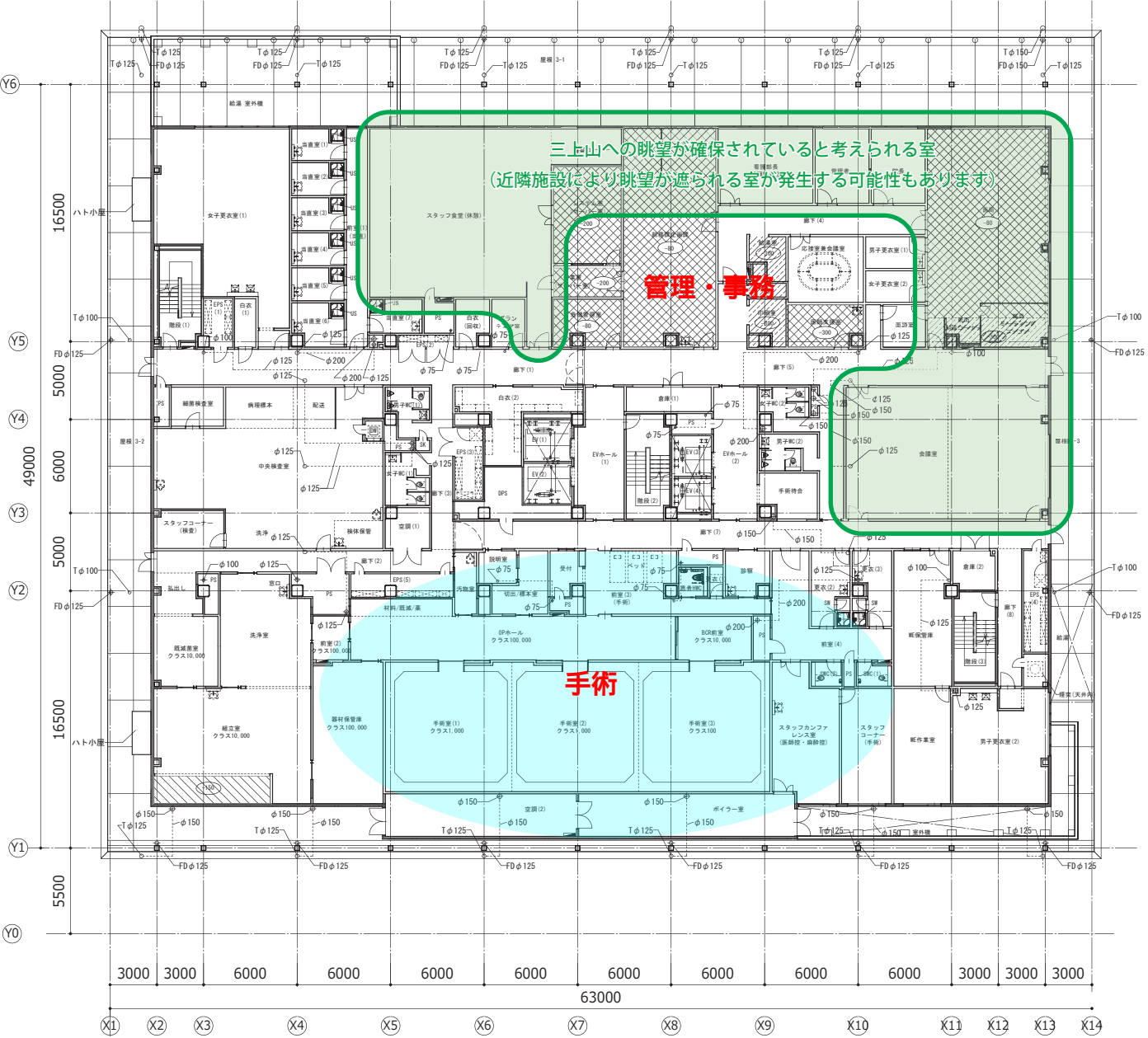


床下げ	床下げ + シンク-コンクリート	床点検口450x450錠付 (仕上: 床仕上同材)
OAフロア	二重床+ウレタン系塗膜防水(X-2) (漏水検知: 設備工事)	
二重床	SL下がり寸法 (***はFLから)	

凡例 (免震層・免震層下部)			
排水溝上り (外周部)	150 300	100φ×2 通水・通気孔	マンホール 600φ (タラップ付き)
非常用排水槽	96.199×1.2m×0.7= 80.8㎡	通水孔半割 200φ×2	釜場 (図示)
検査排水槽	30.975×0.8m×0.7= 17.3㎡	雨水貯留槽	免震継手: 倉敷化工 MF-S程度
消火水槽	36.125×1.2m×0.7= 30.3㎡	雑用水槽	MFPL±0は1FL-2800
		連通管BV200φ×2 (常開・清掃時「閉」) (設備工事)	
設計番号 04180-010		野洲市民病院整備工事 (建築主体)	
図面名 ビット・1階平面図		縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A2)	種別
一般建築士事務所 建設コンサルタント 構造設計一級建築士 一般建築士	登録番号 東京都第1033号 登録番号 建20第943号 第 5021号 第161787号 桑原 賢司	総括 一級建築士 第189809号 國廣 祐男 設備設計一級建築士 第 2304号 一般建築士 第269330号 最永 恒久	担当 川上 浩史 作成日 H31.6
株式会社 佐藤総合計画		通し番号 023	



2FL 平面図



3FL 平面図

床下げ		床下げ + シンク-コンクリート		床点検口450x450錠付 (仕上: 床仕上げ同材)		0Aフロア		二重床+外気系塗膜防水(X-2) (漏水検知: 設備工事)		SL下がり寸法 (***はFLから)		二重床			

設計番号
04180-010

工事名称
野洲市民病院整備工事 (建築主体)

図面名
2・3階平面図

縮尺
1/200 (A1)
1/400 (A3)

一級建築士事務所
建設コンサルタント

登録番号
東京都第1033号
登録番号
第26第843号

一級建築士
第189809号 國廣 祐男

一級建築士
第2304号 是永 恒久

構造設計一級建築士
一級建築士

第5021号
第161787号 桑原 賢司

一級建築士
第269330号

通し番号
024

作成日
H31.6





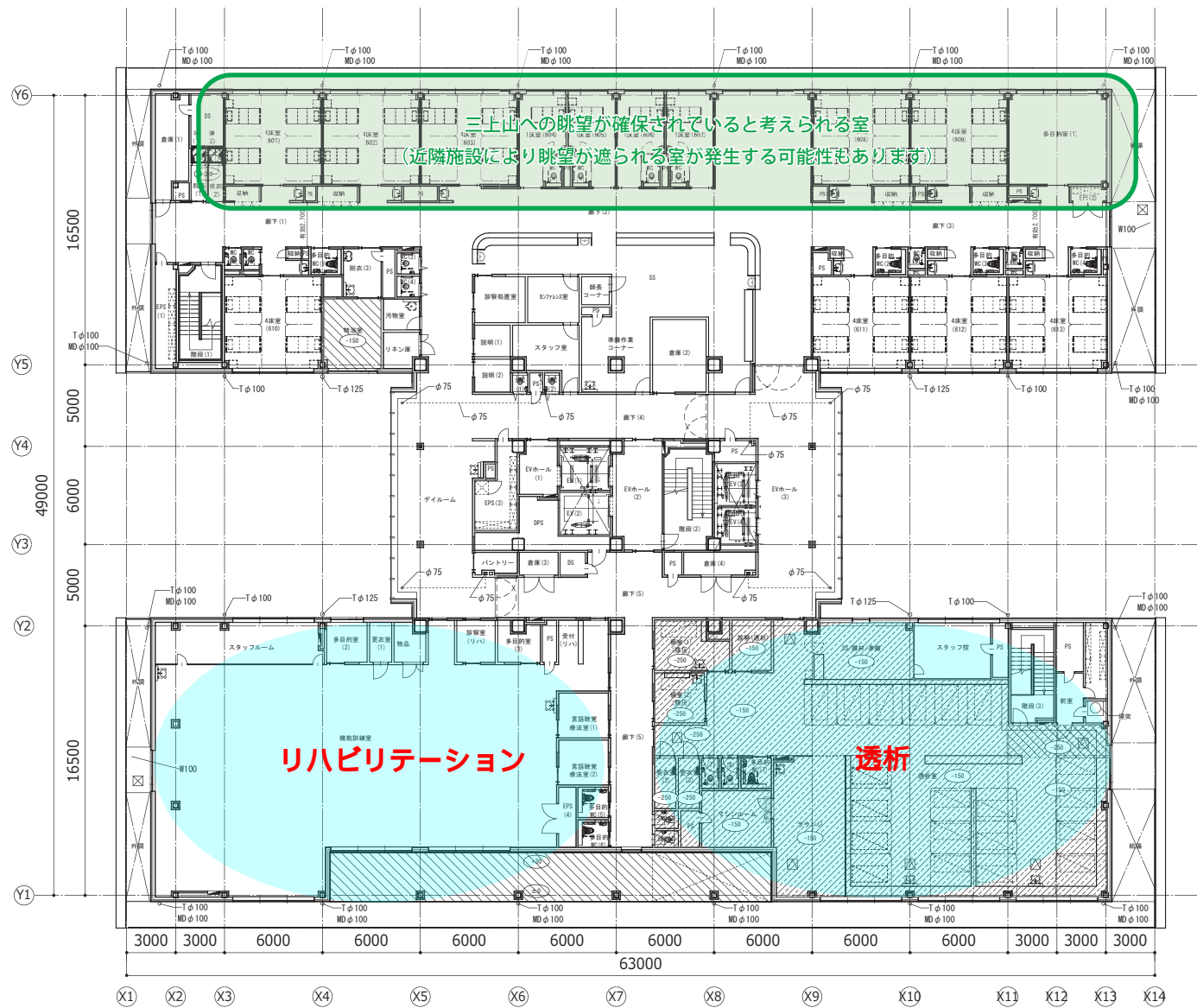
4FL 平面図



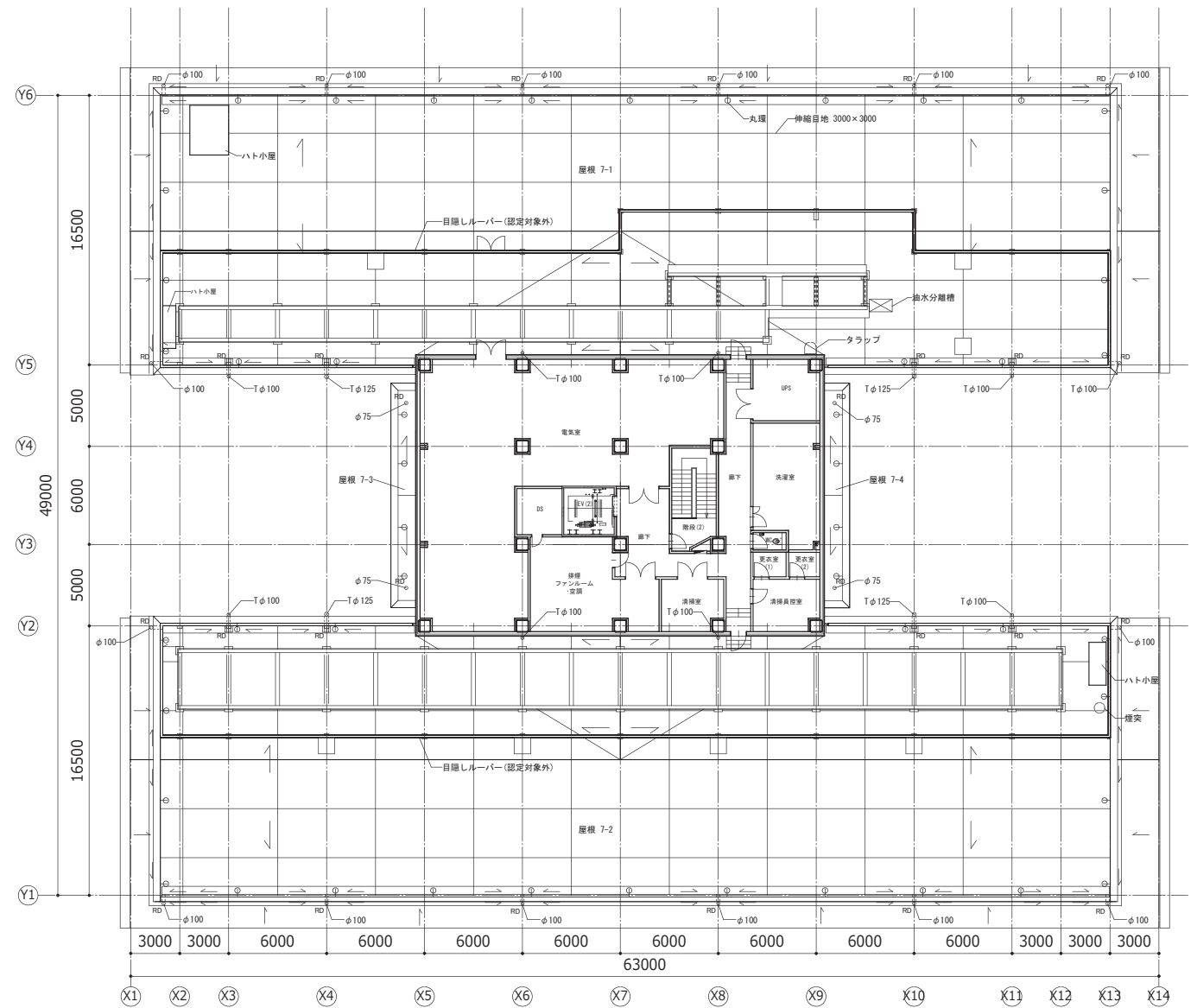
5FL 平面図



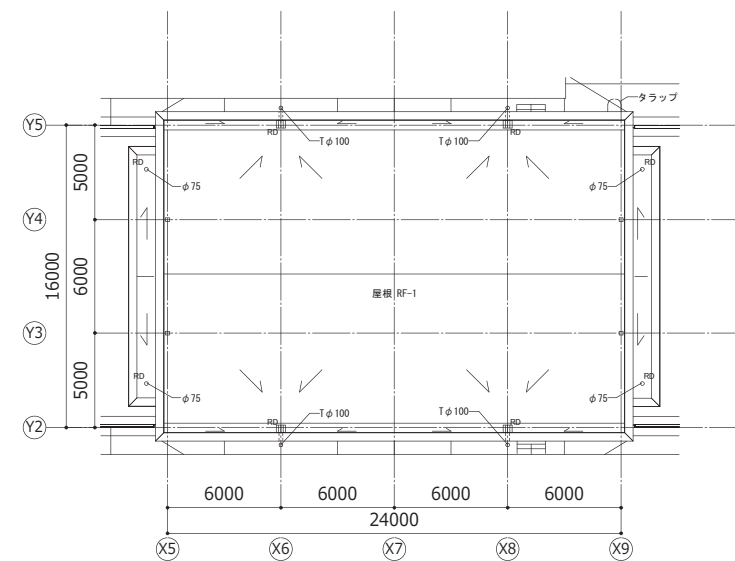
	床下げ		床下げ + シンターコンクリート		床点検口450x450錠付 (仕上: 床仕上同材)	 株式会社 佐藤総合計画	設計番号 04180-010	工事名称 野洲市民病院整備工事 (建築主体)	種別	
	0Aフロア		二重床+ウレタン系塗膜防水 (X-2) (漏水検知: 設備工事)				図面名 4・5階平面図	縮尺 1/200 (A1) 1/400 (A3)		
	二重床		SL下がり寸法 (***)はFLから				一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号 建設コンサルタント 登録番号 建26第843号	取組 一級建築士 第189809号 國廣 祐男	担当 川上 浩史	通し番号
							構造設計一級建築士 第 5021号 一級建築士 第161787号 桑原 賢司	設備設計一級建築士 第 2304号 一級建築士 第269330号 是永 恒久	作成日 H31.6	025



6FL 平面図



7FL 平面図



RFL 屋根伏図



床下げ	床下げ + シンク-コンクリート	床点検口450x450錠付 (仕上: 床仕上同材)			
0Aフロア	二重床+外気系塗膜防水(X-2) (漏水検知: 設備工事)				
二重床	SL下がり寸法 (***はFLから)				

設計番号

04180-010

工事名称

野洲市民病院整備工事 (建築主体)

図面名

6・7・R階平面図

縮尺

1/200 (A1)
1/400 (A3)

一級建築士事務所

登録番号 東京都第1033号

建設コンサルタント

登録番号 建26第843号

一級建築士

第189809号 國廣 祐男

一級建築士

第2304号 是永 恒久

構造設計一級建築士

第5021号 桑原 賢司

構造設計一級建築士

第269330号 是永 恒久

担当

川上 浩史

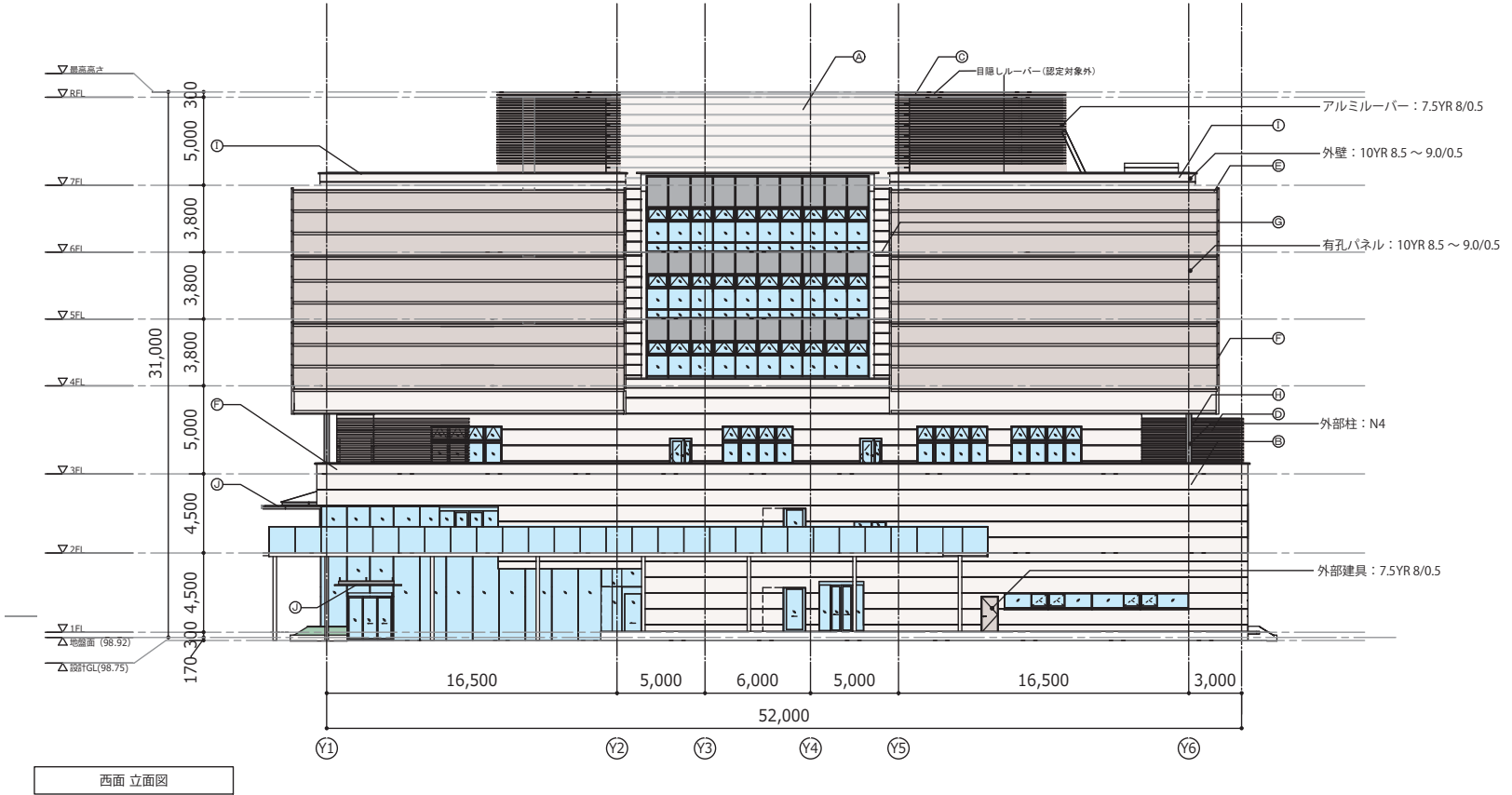
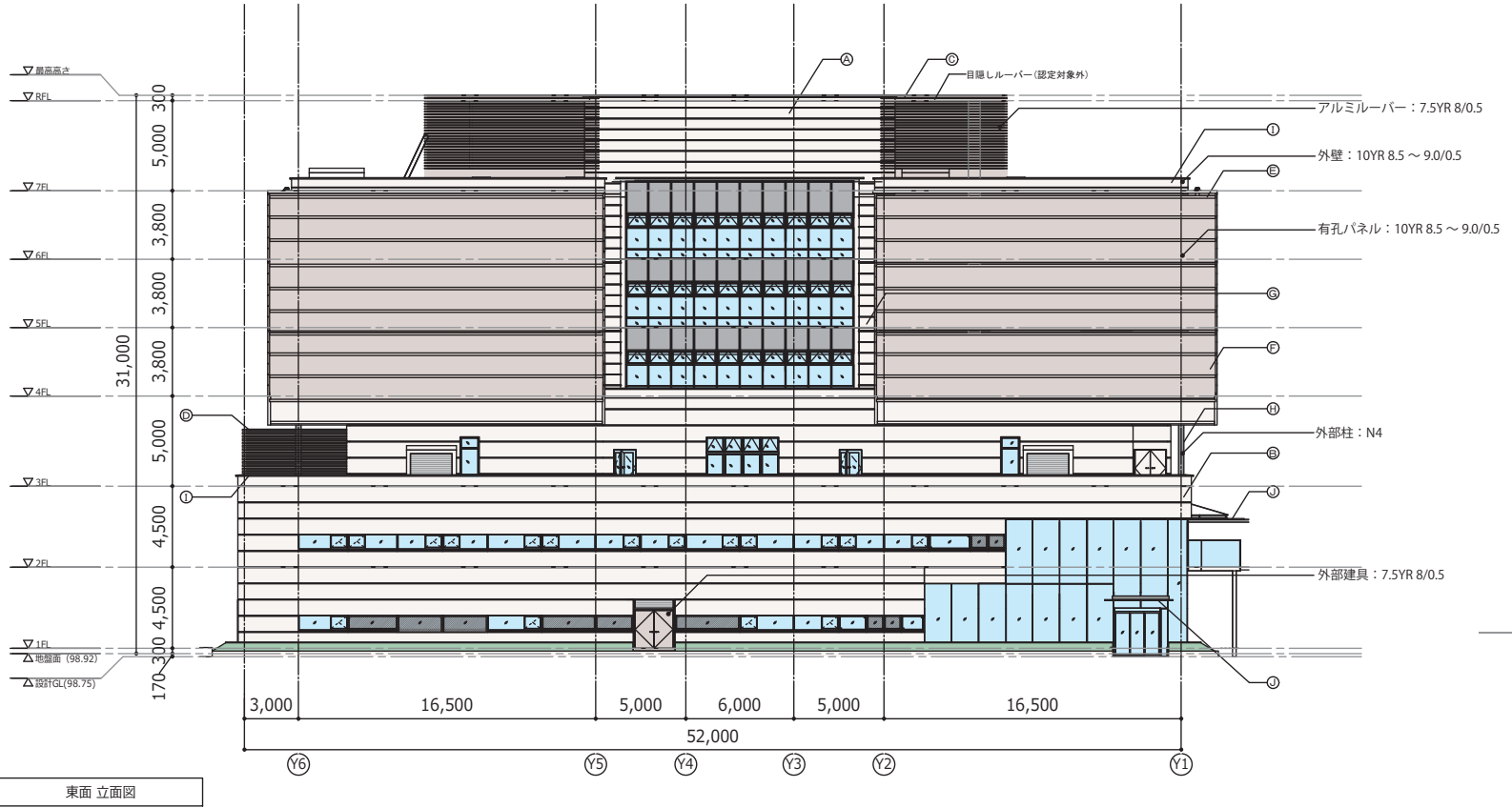
作成日

H31.6

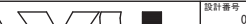
通し番号

026

株式会社 佐藤総合計画

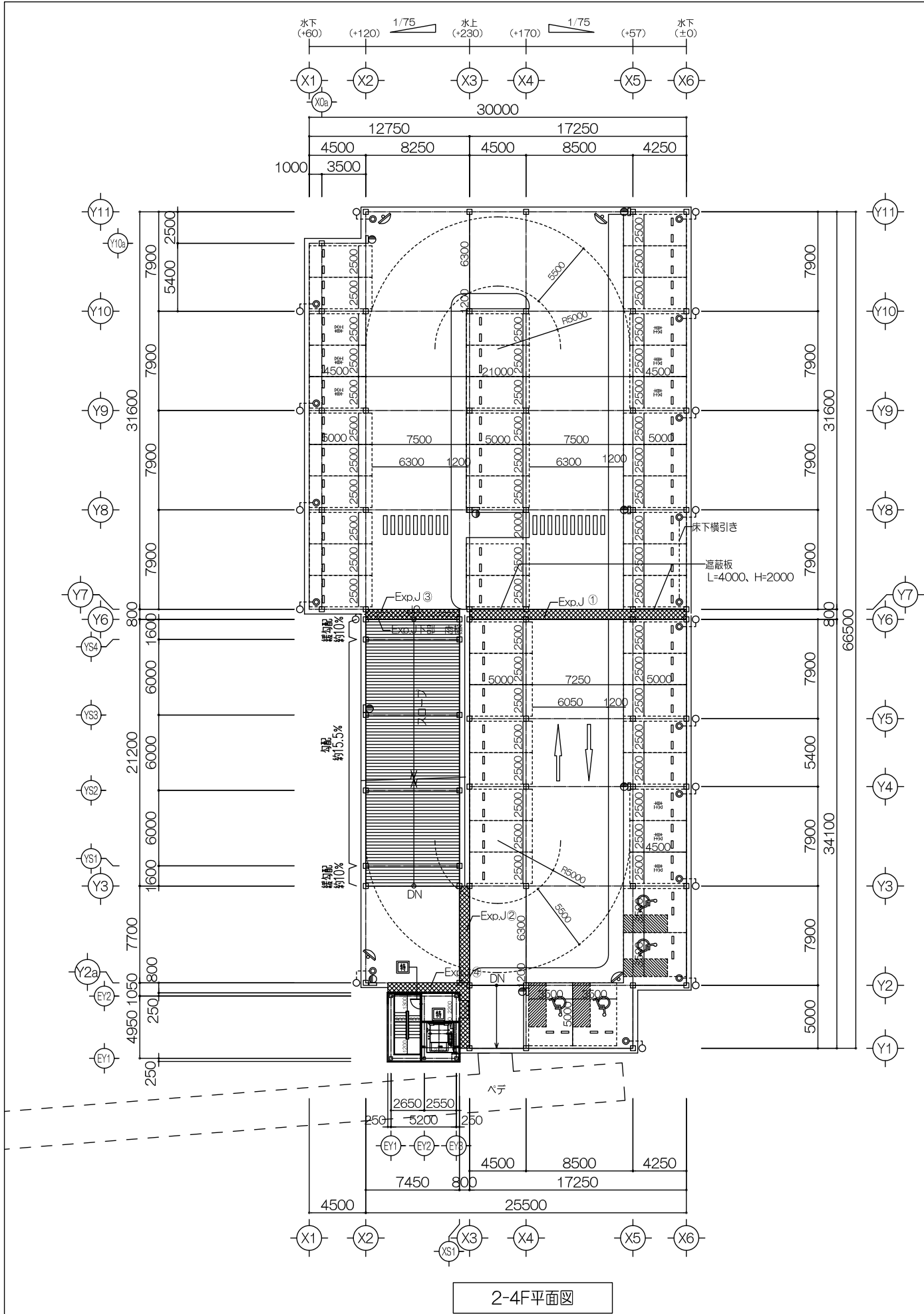


※アルミルーバー、外部建具については各メーカーによる規格、RCについては調合による色のばらつきにより、変更が予想されるが参考値として記載した。

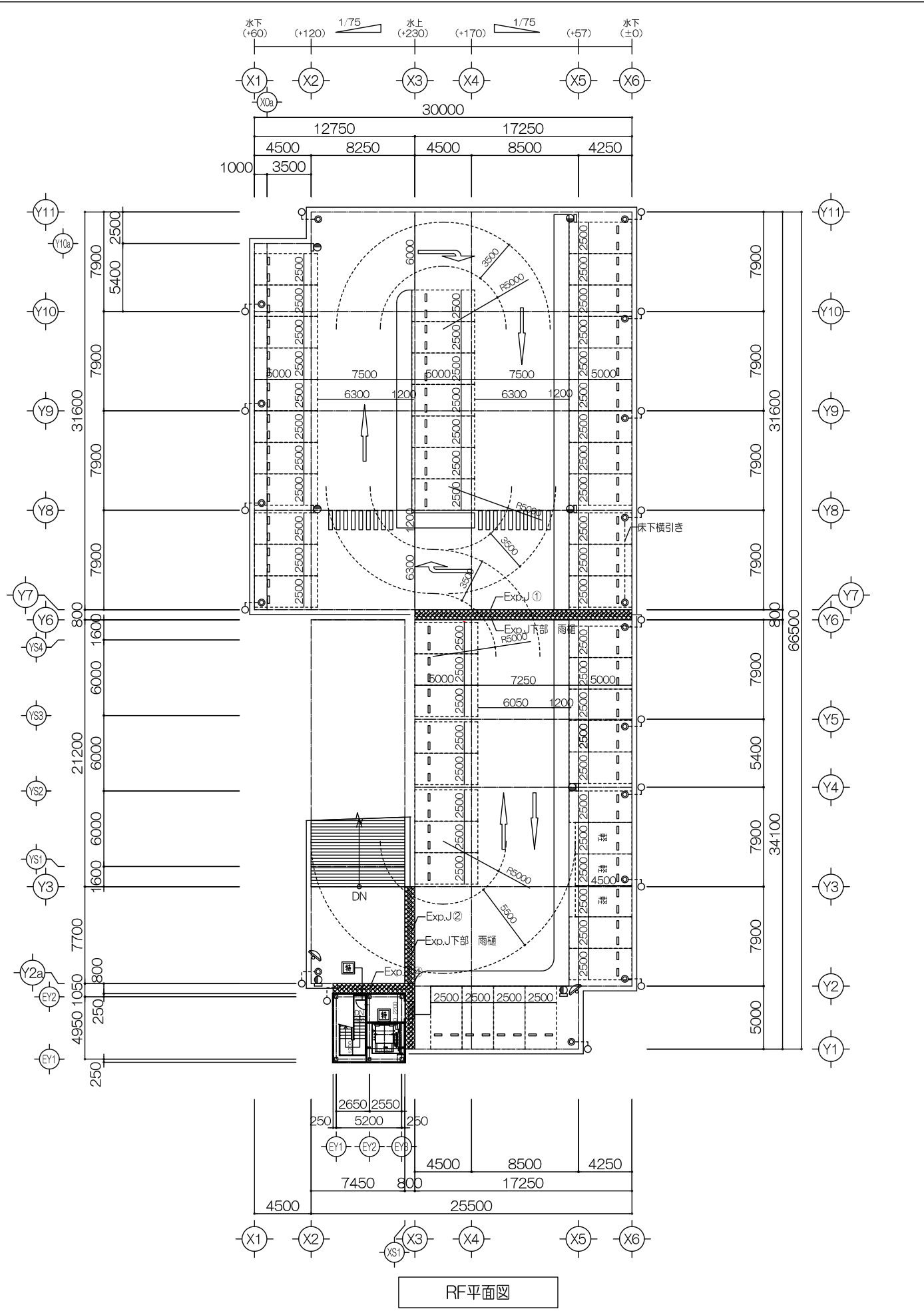
A	外装：押出成形セメント板+外装厚塗材 Si	G	RC：打ち放し補修+フッ素樹脂クリア塗装	バックパネル	 株式会社 佐藤総合計画	設計番号	04180-010	工事名称	野洲市民病院整備工事（建築主体）		種別			
B	外装：押出成形セメント板デザインパネル + 外装厚塗材 Si	H	耐火塗料(2時間)			図面名	東面・西面立面図			縮尺	1/200 (A1) 1/400 (A3)			
C	屋上目隠パネル：アルミ押出型材	I	笠木：アルミ押出型材(B-2)			一級建築士事務所 建設コンサルタント	登録番号	東京都第1033号 建設番号	第26第843号	取括	一級建築士 第189809号 國廣 祐男	担当	川上 浩史	通し番号
D	目隠ルーバー：アルミ押出型材	J	庇：アルミハニカムパネル			構造設計一級建築士	第 5021号	設計設計一級建築士	第 2304号	作図日		H31.6	028	
E	ルーバー：高耐食性メッキ鋼板 t=1.6 + ポリエステル樹脂粉末塗装					一級建築士	第161787号 桑原 賢司	一級建築士	第269330号 是永 恒久					
F	有孔パネル：高耐食性メッキ鋼板 t=1.6 + ポリエステル樹脂粉末塗装													



										 株式会社 佐藤総合計画	設計番号	04180-010	工事名称	野洲市民病院整備工事（建築主体）					種別
											図面名	外観透視図					縮尺		
											一級建築士事務所 建築コンサルタント	登録番号 東京都第1023号 建築番号 建26第843号	総括 一級建築士 第188809号 園廣 植男	担当 川上 浩史	通し番号				
											構造設計一級建築士 一級建築士	第 5021号 第161787号 桑原 賢司	設備設計一級建築士 一級建築士	第 2304号 第268330号 是永 恒久	作成日 2019. 6				

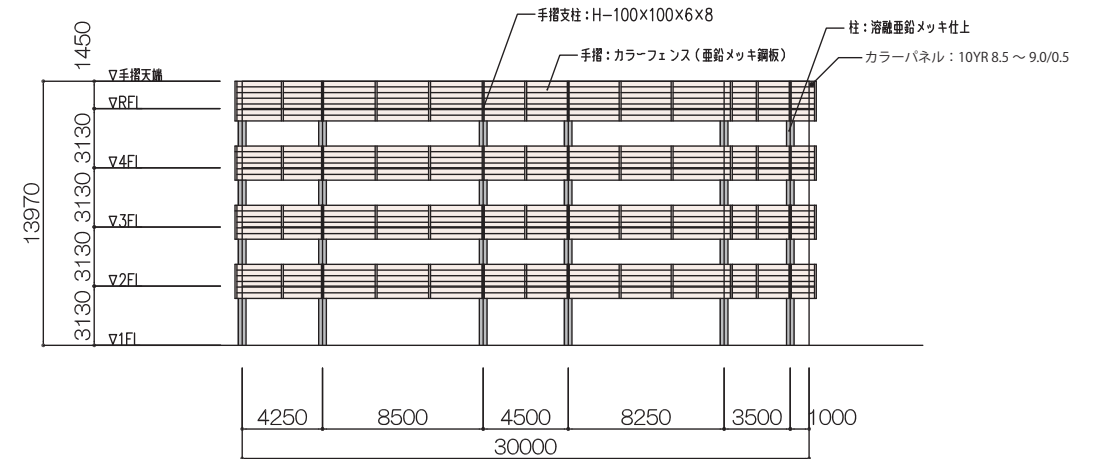
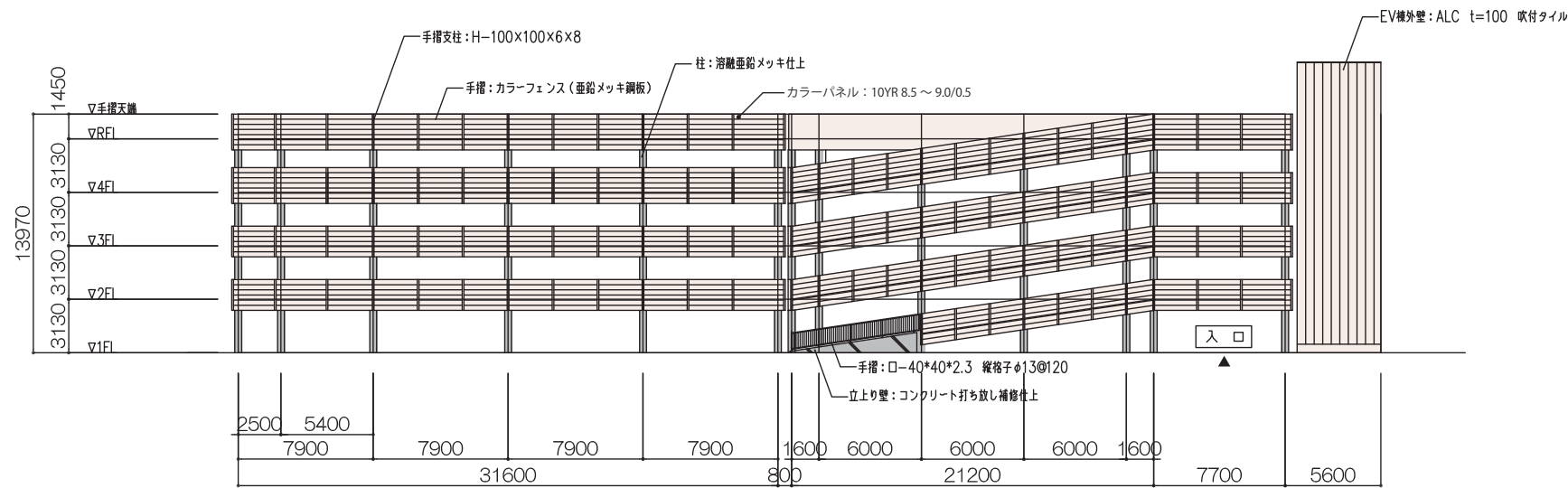
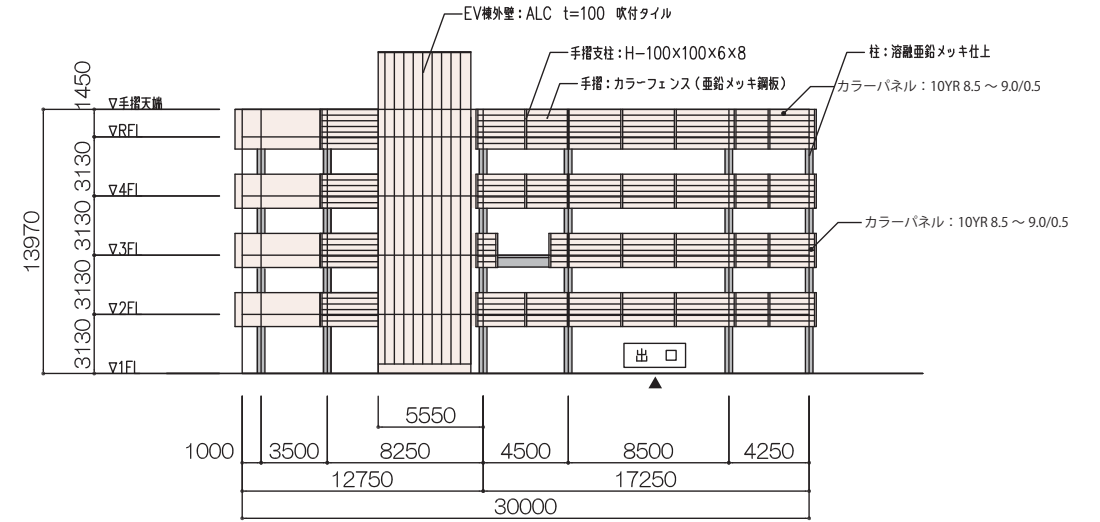
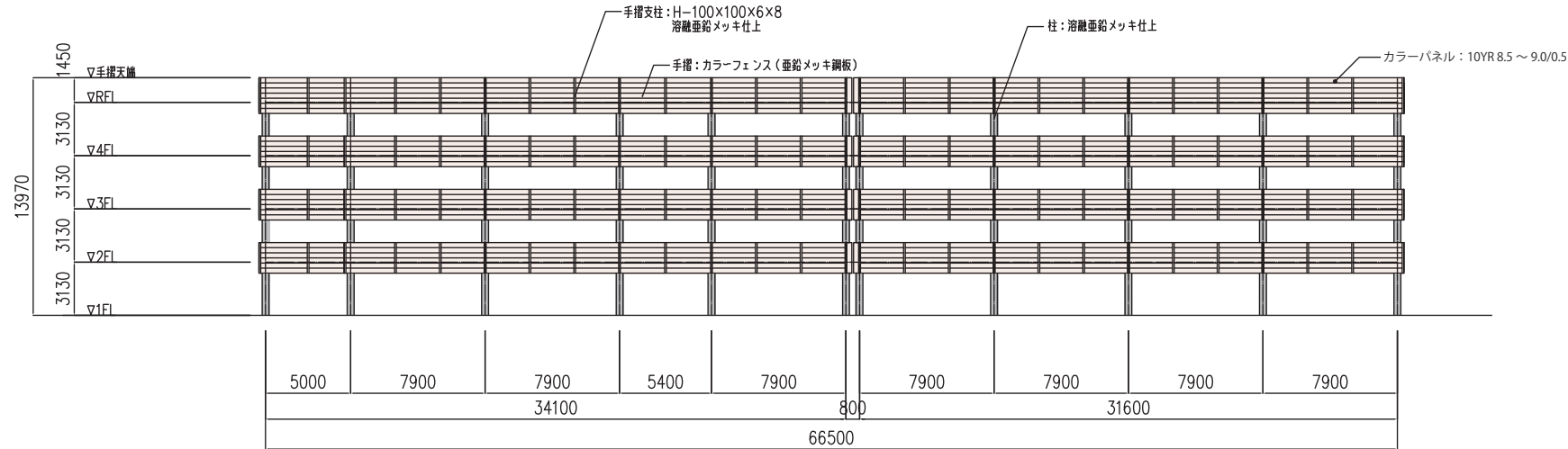


2-4F平面図



RF平面図

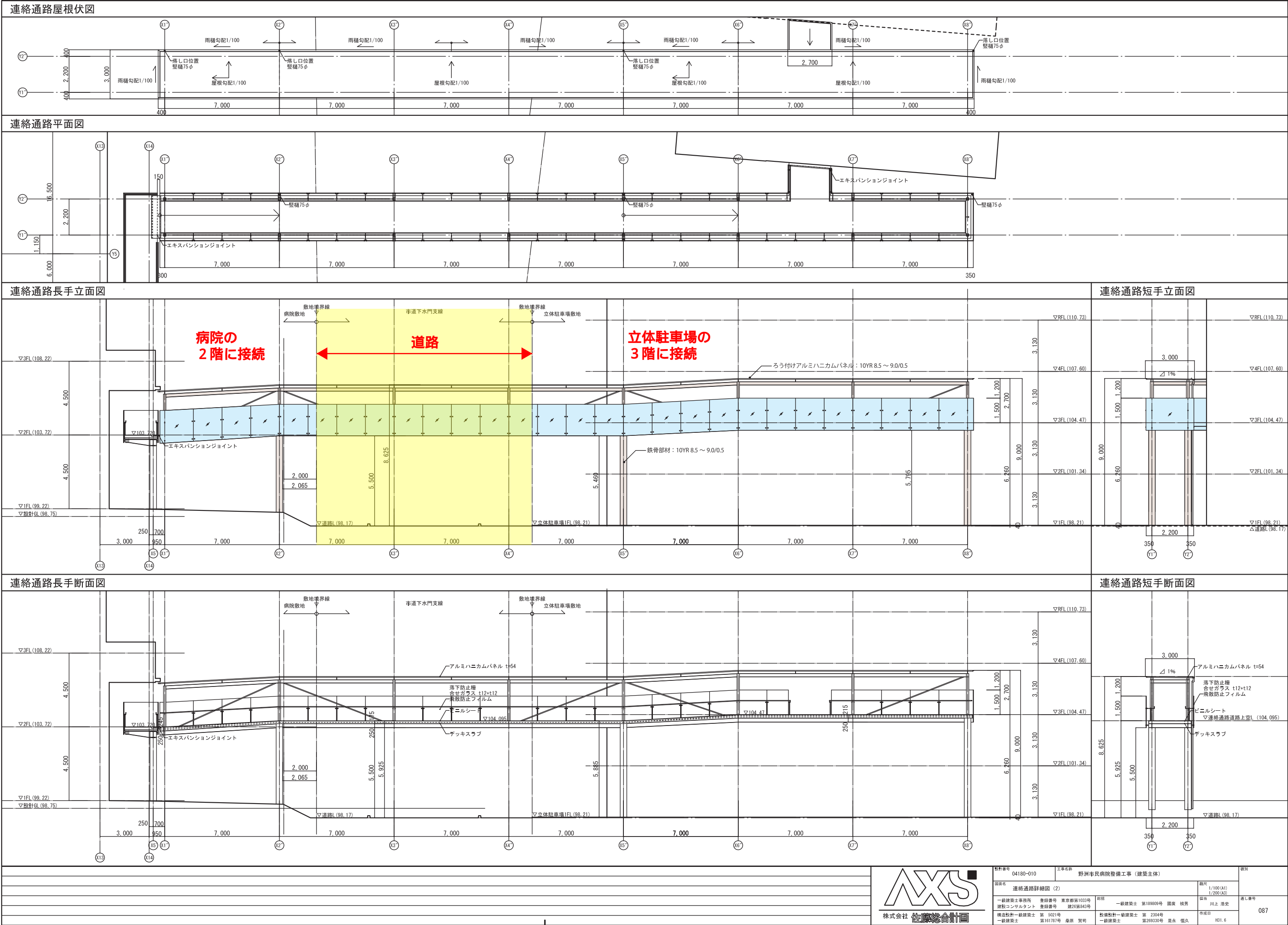
						図面番号 04180-010 工事名称 野洲市民病院整備工事（建築主体）	縮尺 1/400 (A3) 1/200 (A1)	番別
				図面名 駐車場2・RF階平面図		設計者 一級建築士 第188809号 國廣 祐男	監理者 一級建築士 第2304号 是永 恒久	通し番号 155
				一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号 建設コンサルタント 登録番号 建26第843号		制作日 H31.6		
				構造設計一級建築士 第5021号 一級建築士 第161767号		構造設計一級建築士 第2304号 一級建築士 第269330号		



						図面番号	04180-010	工事名称	野洲市民病院整備工事 (建築主体)	種別
						図面名	駐車場立面図			縮尺
						設計者	一級建築士事務所 登録番号 東京都第1033号	設計者	一級建築士 第189809号 園廣 祐男	縮尺
						設計者	建築コンサルタント 登録番号 第25第843号	設計者	川上 浩史	縮尺
						構造設計	一級建築士 第 5021号	構造設計	一級建築士 第 2304号	作成日
						一級建築士	第161787号 桑原 賢司	一級建築士	第266330号 是永 恒久	H31.6
						通し番号				156



										AXS 株式会社 佐藤総合計画	設計番号	04180-010	工事名称	野洲市民病院整備工事（建築主体）			種別
											図面名	外観透視図			縮尺		
											一般建築士事務所 建設コンサルタント	登録番号 東京都第1023号 建築士 第26第843号	都庁 登録 一般建築士 第18809号 園廣 植男	担当 川上 浩史	通し番号		
											構造設計一般建築士 一般建築士	第 5021号 第161787号 桑原 賢司	設備設計一般建築士 一般建築士	第 2304号 第268330号 是永 恒久	作成日 2019. 6		



景観計画との適合性

重点地区 野洲駅南地区 行為の制限に関する事項（景観形成基準） 1 建築物の新築、増築または改築

	区域全体（中山道沿道を除く）	適合性	対応・考え方		
			病院棟	立体駐車場棟	連絡通路
敷地内における位置	(1)道路敷（以下「道路」という。）側の敷地境界線からできるだけ多く後退すること。	△	建築物の1階部分は道路境界線から2 m以上後退していますが、病院として求められる機能の充実、駐車台数の確保により、2階以上の一部は後退距離を満たしていない箇所があります。しかしながら、後退距離を満たしていない部分は、庇やバルコニーなどの手すり程度であり、『野洲市景観計画ガイドライン』記載の「軒」(P7)と同様の扱いができ、敷地内の緑地に対して支障を与えず、周辺景観に大きな影響はないと考えております。	病院と立体駐車場をつなぐ道路上の建物として計画。歩道からの圧迫感に配慮し、通路を支える柱については、道路境界線から2 m以上後退するよう計画。	
	(2)原則として、建築物の外壁は、道路から2メートル以上後退すること。ただし、土地利用上または周辺既存建築物との整合性などから困難または不適切な場合はこの限りではない。				
	(4)敷地内の建築物および工作物の規模を勘案して、釣り合いよく配置すること。				
	(5)樹姿または樹勢が優れた樹木が敷地内にある場合は、この樹木を修景に生かせるよう配慮すること。				
	形態	(1)周辺景観との調和に配慮し、全体的にまとまりのある形態とすること。	○	華美な装飾は施さず、シンプルな形態で周辺景観と調和した形態とします。	計画建築物は勾配屋根ではないものの、共同住宅や銀行、文化施設をはじめ飲食店など店舗が建ち並び街並みに調和した形態と考えます。また、冬季の積雪による落雪など、歩行者や道路を通行する車両などへの危険性を排除するとともに、屋上を有効活用することで、ゆとりのある道路空間、豊かな緑地を設け周辺景観に配慮した計画とします。
(2)周辺の建築物の多くが入母屋、切妻等の形態の屋根を持った地区では、原則として、勾配のある屋根を設けること。		△			
(3)勾配屋根は、原則として、適度な軒の出を有すること。					
(5)屋上に設ける設備は、できるだけ目立たない位置に設けるとともに、建築物本体および周辺景観との調和に配慮したものとすること。これにより難しい場合は、目隠し措置を講じる等修景措置を図ること。				○	

	区域全体（中山道沿道を除く）	適合性	対応・考え方		
			病院棟	立体駐車場棟	連絡通路
意匠	(1)平滑な大壁面が生じないよう、陰影効果に配慮すること。 (2)屋根、壁面、開口部等の意匠に配慮し、威圧感および圧迫感を軽減するよう努めること。	○	開口部の配置やバルコニー・ルーバーなど適度な凹凸を設け、効果的な陰影により圧迫感などを軽減した意匠とします。	効率的な駐車場計画によるパターン化された外壁・開口部により、平滑な大壁面が生じない圧迫感などを軽減した意匠とします。	シンブルな意匠・構造により、威圧感や圧迫感を軽減した意匠とします。
	(3)周辺の建築物の様式を継承した意匠とし、これにより難しい場合にはこれを模したものとすること。		計画敷地周辺の集合住宅や文化施設、銀行など、駅前という立地に調和する意匠とします。		
色彩	(1)けばけばしい色彩とせず、できるだけ落ち着いた色彩を基調とし、周辺景観および敷地内の状況との調和を図ること。 (3)外観および屋根の基調色は、次のとおりとすること。 色相 O.1R ～10G 彩度 6 以下 明度 3 以上 色相 O.1BG～10RP 彩度 3 以下 明度 3 以上 無彩色 明度 3 以上 ※屋根の基調色は、彩度のみの適用とする。 ※漆喰、ベंगाら等の自然素材を使用する場合や周辺景観と調和すると認められる場合においてはこの限りではない。 (4)色彩を組み合わせる場合は、建築物に落ち着きを持たせるため、その性質を十分考慮すること。 (5)周辺景観の色相と対比する色相を使用する場合は、対比調和の効果が発揮できるよう十分考慮すること。	○	医療施設に相應しい落ち着いた清潔感のある白色を基調とした色彩計画とします。 また、病院名や案内表示など、適度なアクセントカラーを設けることにより、周辺景観との調和を図ります。 ※計画マンセル値 外観：10YR 8.5～9 / 0.5		

	区域全体（中山道沿道を除く）	適合性	対応・考え方		
			病院棟	立体駐車場棟	連絡通路
素材	(1)周辺景観になじみ、かつ、耐久性および耐候性に優れた素材を使用すること。 (2)冷たさを感じさせる素材または反射光のある素材を壁面等の大部分にわたって使用することは避けること。 (3)周辺の建築物と同様の素材とすること。ただし、これにより難しい場合はこれを模した素材とすること。	○	外装は耐久性及び耐候性に優れた押出成形セメント版にて計画。また、設備機械などの目隠しとしてアルミルーバーを設置します。光沢を抑えた塗装などにより、周辺景観との調和に努めます。		
敷地の緑化措置	(1)敷地内の空地には、できるだけ多くの緑量を有する緑化措置を講ずること。 (2)道路から後退してできる空地には、特に中高木や生垣による緑化に努めること。 (3)建築物が周辺景観と融和し、良好な景観の形成および周辺環境との調和が図れるよう、樹種の構成および樹木の配置を考慮した植栽を行うこと。 (4)大規模建築物にあっては、周囲に与える威圧感、圧迫感および突出感を和らげるよう、その高さを考慮した樹種および樹木を選び、その植栽位置を考慮すること。 (5)植栽に当たっては、自然植生を考慮するとともに、周辺環境との調和が得られる樹種とすること。	○	ケヤキなどの高木をはじめ、低木や芝などの地被植栽などをバランスよく配置し敷地の緑化に努めると共に、周辺環境との調和や威圧感・圧迫感の低減などに配慮した計画とします。 また、「野洲市生活環境を守り育てる条例」に定める植栽率以上の緑地を確保します。		
樹木等の保全措置	(1)樹姿または樹勢が優れた樹木が敷地内にある場合は、当該樹木を修景に生かせるよう配慮すること。ただし、これにより難しい場合は、移植の適否を判断し、できるだけその周辺に移植すること。移植後は十分な管理を行い、樹勢の回復に努めること。	—	該当なし		